

1. 計画策定の背景

1-1. 計画の目的

嬭恋村には、広大なキャベツ畑、浅間山を望む景観、自然豊かな別荘地といった、特色ある景観がたくさんあります。村ではこれらの美しい景観を保全し、住民等が愛着や安らぎを感じることができる良好な景観を将来に渡って受け継いでいくことを目的として、「嬭恋村景観計画」を策定します。

1-2. 計画策定の背景と位置付け

「美しい国づくり政策大綱（平成15年7月、国土交通省）」の中で、景観に関する基本法の制定が公約され、平成16年に景観法（平成16年12月施行）が制定されました。これにより、地方公共団体が景観の整備・保全に主体的に取り組むことが可能となりました。

「嬭恋村景観計画」では、関連法や上位計画の内容との整合を図りつつ、実効性の高い景観づくりのための仕組みを定めます。また、今後の社会情勢の変化や施策の進捗状況を踏まえ、必要に応じて適宜見直しを行います。

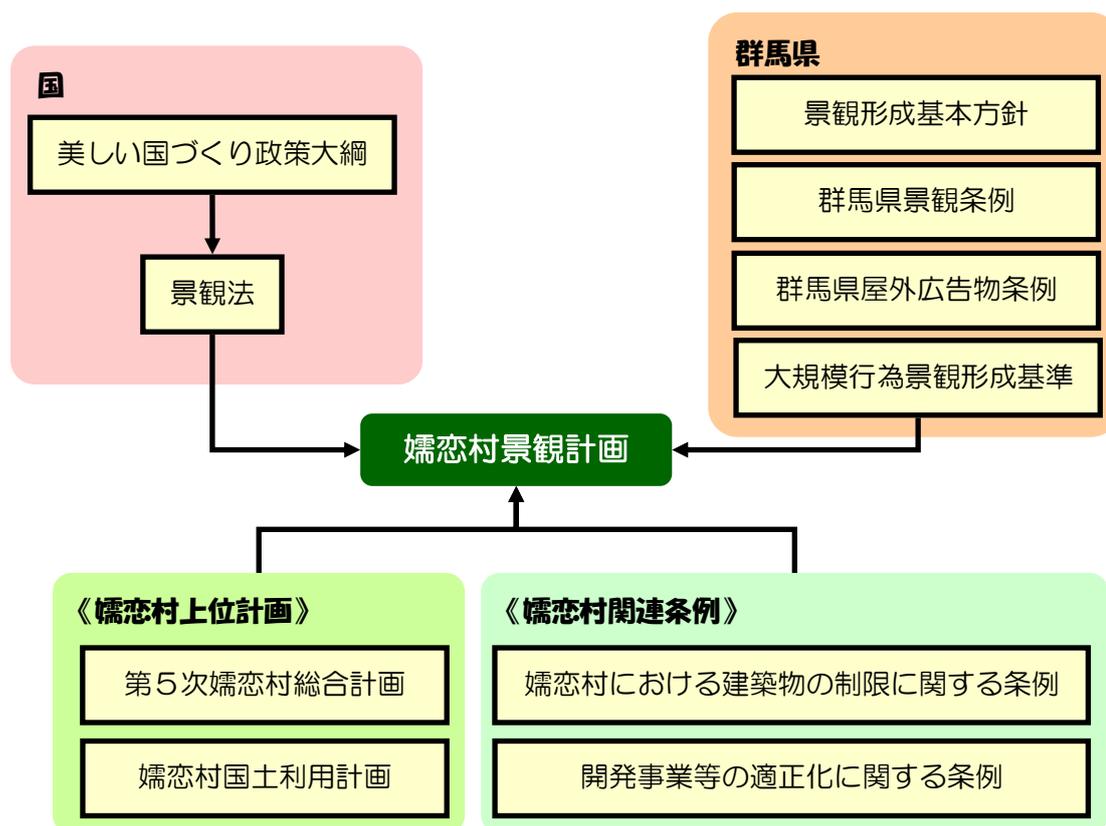


図 計画の位置付け

1-3. 嬭恋村における景観計画の必要性

嬭恋村には、広大なキャベツ畑、浅間山を望む景観、自然豊かな別荘地といった、特色のある景観が多くあります。村民から愛され、育まれてきたこれらの景観は、村内外を問わず多くの人々をひきつけ、年間 200 万人以上の観光客が訪れ、余暇を過ごす別荘地としての賑わいもみせています。このように、村の景観は村民や訪れる人達にやすらぎや潤い、愛着などを与えるとともに、大きな経済効果をもたらしています。



一方で、過去にはリゾートマンションの建設が計画され、嬭恋村特有の景観や自然環境の喪失を防ぐため、建築や開発に関する条例等を制定し、魅力ある景観や自然環境を守ってきた経緯があります。しかし、現在の自主条例では、勧告までの行政指導と強制力が弱く、また条例の中で対象としていない行為があることから、その実効性に課題が指摘されています。さらに別荘地では、別荘ブーム期に宅地の細分化が行われ、その後の社会経済情勢の影響を受けて現在では虫食い状態となっている箇所もみられます。別荘管理が行き届かず廃屋同然の家屋も増加しつつあり、別荘地の居住環境に影響を及ぼしています。これらの要因が別荘地としての魅力の低下を招いており、このままでは別荘地として衰退してしまうことが懸念されます。



同様に、嬭恋村を代表する、キャベツ畑や浅間山を望む景色についても大切な地域資源であり、現在の景観が損なわれることのないよう、備えておく必要があるといえます。

こうした現状を踏まえると、これまでのような社会経済情勢の影響に左右されやすかった“村づくり”から脱却し、将来にわたって安心して住み続けられる、そして、その資産を子孫へ受け継いでいく“村づくり”の仕組みを構築することが現代の村民の役割であると認識しています。この認識に立って、魅力のある別荘地・観光地・農村景観づくりを基軸とした“嬭恋村ブランドづくり”を実施するため、その有効な一つの手法として、景観法に基づいた景観計画を策定し、景観村づくりに取り組む必要があります。



1-4. 孀恋村の景観資源

孀恋村には、キャベツ畑や浅間山などの景観資源が多く存在しています。アンケート等の結果から、住民に親しまれている景観を把握し、孀恋村の景観資源としてまとめます。

1. パノラマライン

孀恋パノラマラインは、どこまでも続く広大なキャベツ畑の中を、穏やかなカーブとアップダウンで走り抜けます。さえぎるもののない青空の中、浅間山を眺望しながら孀恋のキャベツ畑の中を爽快に走ることができます。道が続く限り走って行きたくなるような、スケールの大きな景色です。



2. 万座ハイウェイ

浅間—白根火山ルートは、軽井沢から鬼押し出し園、万座温泉、白根山へと、上信越高原国立公園の真ん中を縦走する全長 60km のハイウェイで、孀恋村の三原地区から万座温泉までのルートが万座ハイウェイです。道路沿いの新緑や紅葉、白煙たなびく浅間山の雄大な眺めは絶景です。



3. 浅間山

大自然にそびえ立つその雄大な姿、四季折々の美しさは昔から多くの人々に親しまれてきました。浅間連峰の豊かな自然は数多くの動植物を育み、高山植物、高山蝶、野生動物等が現在でも多数生息しています。

独立峰のため山頂からの展望は素晴らしく、天気が良ければ、白根山、妙義山、荒船山、八ヶ岳、日本アルプス、そして遥か富士山も望むことができます。



4. 湯の丸山

標高 2,101m の湯の丸山は穏やかな山容と豊富な高山植物、展望が開け、雨が少なく天候が安定しているため多くの人達に人気の山となっています。

特に湯の丸山周辺を彩るレンゲツツジ群落は国の天然記念物に指定される程の素晴らしさです。6月下旬には、鮮やかな朱色の絨毯のように、湯の丸山一帯を覆い尽くします。



5. 黒斑山

黒斑山は浅間山の展望と登り易さから四季を通して登山者が多い山です。春の残雪期はカラマツの芽吹きと浅間の山肌にくつつもの雪筋の縞模様が美しく、初夏から夏にかけては、登山道を埋め尽くすシャクナゲや高山植物、そして紅葉に染まる秋から雪山へと姿を変え登山者を魅了します。



6. 高峰高原

車坂峠を中心としたなだらかな高原で、周辺には高山植物が群生し、ツガの原生林やカラマツ林など自然のままの姿が残されています。

玄関口となる車坂峠は、黒斑山・高峰山への登山口でもあり、佐久平を一望できる眺望は素晴らしく、天気がよければ富士山頂、八ヶ岳、北アルプスまで一望でき、季節によっては、峠の下に雲海ができ、雲の上にいるような壮大な景色を見ることが出来ます。



7. 四阿山

日本の百名山に名を連ねる標高 2,354mの四阿山は、長野県と群馬県との境に立ち、山頂からは雄大な景色を望めます。

また周辺には、日本の滝百選にも選ばれている柱状節理の「米子大瀑布」があり、秋は紅葉の名所となります。



8. 万座山

万座温泉の北に位置する標高 1,994.4mの山です。万座温泉やスキー場を有し、多くの観光客で賑わいます。



9. 鳥居峠

鳥居峠は長野県との県境にあります。美しい響きを持つ「嬬恋」の名の由来は、日本武尊（ヤマトタケルノミコト）が鳥居峠に立ち、亡き妻・弟橘姫（オトタチバナヒメ）を偲んで「アヅマハヤ」（嗚呼わが妻よ）と嘆き悲しんだ、という伝説によります。これにより、この峠の東の諸国は「吾嬬国」と命名され、嬬恋の地名はこの故事にちなんで名付けられました。



10. 田代湖

群馬県吾妻郡嬬恋村、利根川水系吾妻川（河道外）に建設された鹿沢ダム湖の名です。秋には綺麗な紅葉が周りを囲みます。



11. 田代地区のオオヤマザクラ

大型の花をつけ、色も濃く美しいオオヤマザクラの群生が見られます。5月初旬に見頃を迎え、山の景色に彩りを添えています。

12. 愛妻の丘

パノラマラインの道中にある展望スポットです。平成 20 年 3 月に完成した展望台は非常にきれいで、花も咲いており、メルヘンな雰囲気が漂います。

キャベツ畑の景色の反対側には眼下に広域の絶景を見渡せます。また、愛妻の丘には、誰が、いつ来ても愛を叫ぶことができる「妻に愛を叫ぶ専用叫び台」があります。



13. たまだれの滝

湯の丸高原と鹿沢温泉の間にあります。水量はそれほど多くなく、落差も上段は5m程度という小さな滝ですが、沢の水が「たまだれ」の如く、流れ落ちています。

滝の岩は厚く苔に覆われ、ハコネサンショウウオも生息しています。

(出典：孀恋村観光協会 HP)



14. 雪山讃歌の歌碑

鹿沢温泉は「雪山讃歌」発祥の地です。昭和の初め、鹿沢を訪れた西掘栄三郎氏（第一次南極越冬隊長）らが吹雪に閉じ込められ、退屈しのぎに湯宿で作詞したといわれます。これを記念し昭和 46 年に台字は西掘氏直筆により「雪山讃歌」の碑が建立されました。



15. 鹿沢温泉

湯の丸山のふもとに位置する鹿沢・新鹿沢温泉は、豊かな自然に囲まれたのどかな温泉地です。温泉の周囲は、一面の高原野菜畑が広がっており、浅間山の眺望が望めます。国の天然記念物に指定されているレンゲツツジの群生は見事で、毎年数多くの方が訪れています。



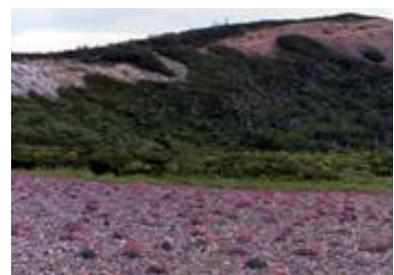
16. 万座温泉

上信越高原国立公園内にある万座温泉は、標高 1,800m の高嶺地温泉です。厳しい開発規制がかかる万座地区は、徹底した保護により守られてきた雄々しい自然を感じられます。高山植物がいつせいに花開く春、さわやかな夏、独特な色合いの紅葉がすばらしい秋、絶好のスキーを楽しめる冬と、年間を通じて楽しむことができます。



17. 本白根山

群馬県吾妻郡草津町と孀恋村にまたがる、標高 2,171m を誇る高山植物の豊富な本白根山は、登山道から、孀恋村の全景を眺めることができます。また、コマクサの開花時には多くの登山客で賑わいます。



18. 孀恋のスキー場

万座・鹿沢・バラギ高原地区のスキー場は、浅間山、白根山、万座山と雄大なパノラマを望めるスキー場で、それぞれ雄大な山々を背にダイナミックな滑りを楽しめます。



19. 孀恋牧場

万座ハイウエーのビューポイントです。広々とした牧歌的雰囲気の魅力の高原牧場です。農産物や山野菜などの地元の名産品も販売しています。また牧場内には「愛妻の鐘」が誕生し、雄大にそびえ立つ浅間山を前にして愛を叫ぶスポットとなっています。



20. 野地平

高山植物が咲く湿地高原で、高層湿原に咲く花々を眺めながら、ハイキングを楽しむことができます。



21. バラギ湖

バラギ湖は、四阿山の麓、標高1,400mのバラギ高原にある周囲2kmの湖です。釣りやボートが楽しめ、湖周辺では、山野草や湿原性植物を見ることができます。



22. バラギ高原

四阿山の麓に広がる高原で、中心に位置するバラギ湖や石樋の滝、野地平等、様々なネイチャーワールドを満喫できます。新緑や紅葉の季節には、鮮やかに色づいた景色を楽しめます。



23. 干俣地区

干俣地区のバラギ高原や、パノラマライン北ルートからは、浅間山を背景に広がる孀恋村の景色を眺めることができます。



24. 万座ハイウエーのカラマツ林

万座ハイウエーを囲むカラマツの原生林は、植林されたものとは違う迫力を見せてくれます。

特に、カラマツ天然母樹林付近の樹木は立派で、秋には燃えるような紅葉が見られます。



25. 干俣地区キャベツ畑

干俣地区を走るパノラマライン北ルート沿いには、キャベツ畑が広がり、高原のすがすがしい空気を感じることができます。



26. 石樋の滝

宇田沢の川床が、安山岩の石たたみ状になっており、250～300m続いています。その様子が石でできた樋にたとえられて、石樋と名付けられました。



27. ろう石山の焼成炉

干俣区仁田沢集落の北西、数百m離れた山腹の緩斜面に、かつての盛況を示す巨大な焼成炉が、雑木の中に立っています。このあたりは、戦中から戦後にかけて、ロウ石を採掘した鉱山跡です。



28. 小串硫黄鉱山跡

小串硫黄鉱山は、1929年から採掘を開始、1971年に閉山されました。ここでは、酸性泉に限り生息する、貴重なチャツボミゴケが群生しています。

29. 大笹地区のキャベツ畑

大笹地区のキャベツ畑は、映画「ジャージの二人」のロケに使用されています。ここでは、浅間山を背景に、一面に広がるキャベツ畑を見ることができます



30. 大笹温泉の引湯道跡

浅間山噴火の際に浅間山麓で温泉が湧出し、大笹村では大笹宿の温泉開発と噴火による被災者の救済を目的に引湯事業を実施しました。

その後、溶岩の熱による温泉だったため、1806年には温泉の温度が下がり廃止されています。



31. 大笹関所跡

寛文2年、沼田藩主の真田伊賀守により設置され、明治2年に廃関されるまで200年あまりにわたり、沼田-吾妻-上田、高崎-仁礼-善光寺を結ぶ仁礼街道の通行人を取り締まりました。関所の門扉は、当時の図面をもとに昭和21年に復元したもので、旧大笹村の宿場のかつての賑わいを伝える史跡です。



32. 抜道の碑

手形の無い通行人に、仁礼街道（大笹街道）の関所を避けて善光寺へ抜ける道を暗示する文学的な香り高い碑です。



33. 嬢恋のゴルフ場

浅間、白根、万座などの山々を背景としたリゾートコースで、真夏でも爽快にゴルフを楽しむことができます。

また、浅間山を望む雄大な景色を見ることができます。



34. 大堀沢の滝

吾妻川へ合流する大堀沢へ流れる滝です。周囲を林に囲まれた静かな環境で、森林浴を楽しみながら滝を眺めることができます。

35. 大前のこうの木（桂）

樹種はカツラです。この地方では、神に捧げる木として榊の代わりにこの木を使うことが多く、樹勢も旺盛で枯れ枝もありません。県内には指定物件はありませんが、カツラは大径木となる性質があり、国指定のものでは16mになるものがあります。



36. 西窪集落周辺の花壇

国道沿いに設置した花壇には、四季折々の草花が植えられており、街の景観に彩りを添えています。



37. 熊野神社と逆さ杉

弘法大師（空海）がこの地を訪ねて、杖を立てたものに根が生え、逆さまに育ったと伝えられています。

根まわり9m、高さ36m、幹が垂れ下がって地面に向かう様は“さかさ杉”にふさわしいものがあります。



38. 鳴尾大橋

万座川の支流、カブリチョ沢に架かる橋です。秋には橋から見事な紅葉を見ることができます。



39. 三原地区の桜並木

桜の満開時期、桜並木がライトアップされ、華やかな春の夜を演出します。



40. 東小学校

東小学校は、明治6年に赤羽根小学校として設立されました。その後、明治19年三原尋常小学校となり、明治41年孺恋東尋常高等小学校になりました。昭和16年孺恋村東国民学校と改称され、昭和22年孺恋村立東小学校と改称されています。

41. 中居重兵衛生家

横浜開港時に上州生糸の輸出に大きな役割を果たし、幕末の時代に波乱の生涯を送った孺恋出身の中居重兵衛。JR万座・鹿沢口駅の前に中居重兵衛の石碑があります。



4 2. 棧敷山

棧敷山・小棧敷山は、天然のカラマツをはじめ、レンゲツツジ、ミズナラ、樺の木類などが豊富にあり、秋にはあたり一面のススキが見事です。動物たちも多く、カモシカも見られます。美しい棧敷山の紅葉を一度ご覧になってはいかがでしょうか。登山口にある鹿沢温泉は唱歌・雪山讃歌発祥の地としても有名です。



4 3. 鹿沢高原のイチリンソウ群落

イチリンソウは高さ 20～25cm ほどの多年草で、名前の通り一輪の白い花を咲かせます。4 月中旬から 5 月中旬にかけて、林道沿いに群生している様子を見ることができます。

4 4. 浅間山麓のシャクナゲ群落

浅間山の麓、三ツ尾根山麓に広がるシャクナゲ園では、5 月中旬～6 月初旬にかけて、およそ 15 万株ものシャクナゲが咲き乱れ、シャクナゲにちなんだイベントも数々行われています。



4 5. 浅間山溶岩樹型

天明 3 年の浅間山大噴火の際、火砕流が発生して群馬県側に流れ、原生林に到達しました。高熱の火砕流は木を包み込むように流れ、生えていた樹木が燃え落ちました。やがて木の燃えかすが朽ちて井戸のような穴だけが残ったものです（「溶岩樹型」という名称ではありますが、実際には火砕流によって形成されたものであることがわかっています）。



4 6. 六里ヶ原

浅間山の北東麓一帯は六里ヶ原と呼ばれます。浅間山の活動により形成されたもので、上の方は天明 3 年の浅間山大噴火の影響が残り植生もまばらですが、下の方は広大なカラマツ林になっています。ここからは、雄大な浅間山を眺めることができます。



4 7. 鬼押し出し園

鬼押し出し園は天明 3 年の浅間山大噴火の熔岩が固まった跡地にあり、「火口で鬼があばれ岩を押し出した。」という当時の人々が見た噴火の印象からこの名は由来しています。

噴火の激しさを今に伝える景観は、世界 3 大奇勝のひとつに数えられています。

また、花と緑がいっぱい花木園では野鳥のさえずりを聞きながら大自然の散策、広場でのピクニックなどが楽しめます。



48. 柏木塚地区

柏木塚地区の高台からは、嬭恋村北部に位置する、万座山や本白根山などの山々を背景に、嬭恋村の全景を眺めることができます。

49. 鎌原神社

鎌原神社には、村の重要指定文化財である郷倉や、樹齢200年以上になるカツラ、カエデ、モミなどの樹木があります。また、春と秋の年2回、宵祭りの際には、五穀豊穡と除災招福の願いを込めて獅子舞が奉納されます。



50. 鎌原観音堂

天明3年の浅間山噴火により、旧鎌原村は土石なだれに襲われ、118戸、477人、馬165頭は一瞬のうちに流失し、台地にあった観音堂だけが唯一の建物として残りました。

その後、生き残った90数名の人たちが被災者の供養を続けながら、村の再建に努めてきました。群馬県指定文化財です。



51. 延命寺

かつて鎌原村に存在していた延命寺は、浅間山噴火の際に埋没し、流出した石標が吾妻川の河原で発見されました。これまでの発掘調査の結果、観音堂の北方200mの地点にその存在が確認されています。



52. 鬼押ハイウェイ

嬭恋村の万座・鹿沢口駅前から軽井沢を結ぶ鬼押ハイウェイです。峰の茶屋から鬼押出し園に至るまでの道すがら、浅間高原の壮大な景色が楽しめます。



53. 上の神社（芦生田）

毎年9月の秋祭りでは、子どもから大人までが参加し、御輿を担いで区内を練り歩きます。また、手踊りや地域の人たちによる出店なども祭りを盛り上げています。

54. 上の原

芦生田地区に位置する上の原は、高台に位置し、集落と、北に位置する山々の眺望が望めます。

55. 総合グラウンドの桜並木

三原地区から総合グラウンドまでの街道沿いには、約130本の桜が植えられており、満開時には、桜を楽しむ人で賑わいます。



56. 今宮溪谷

国道144号線沿いを流れる、吾妻川が作り出した溪谷です。特に新緑、紅葉の季節には、美しい景色を眺めることができます。長野原町から嬭恋村に入る玄関口「上袋倉橋」からも眺望が望めます。



57. 袋倉地区の吊り橋

吾妻川に架かる吊り橋です。吊り橋からは、今宮溪谷の景色を楽しむことができます。



58. 鷹川城趾

今井発電所の対岸、吾妻川に突き出して流れを湾曲させている絶壁上が、鷹川城趾です。台上の平坦地を城の平といい、一段高い丘には諏訪神社を祀っています。戦国時代の、のろし台の跡とも伝えられています。

59. 瀬戸の滝

国道144号線沿いにあり、国道から簡単に見ることができます。滝ノ沢川が高さ45mから落下し、吾妻川へ流れ込む滝で水量も多く、見事な滝です。



60. 今井地区の棚田

今井地区の東方を流れる清流沿いに、村では珍しい棚田が広がっています。また、6月下旬～8月半ば頃までは、螢の姿を見ることができます。



6 1. 仙之入地区のキャベツ畑

仙之入地区は、草津町との境に位置し、村のキャベツ畑のなかで最も北に位置しています。このキャベツ畑からは、浅間山と山麓に広がる村の全景を眺めることができます。



6 2. 今井東平遺跡

今井地区の縄文遺跡では古くから土器や石器が発見されました。平成5年に、東平遺跡と新たに立石遺跡が確認され、黒色磨研注口土器は群馬県指定の重要文化財となっています。

